

97BC・O第1, 2回 宿題問題について

上記の件につきまして、5, 6月のSQC部会で検討を行い、以下のようなご意見がございましたので、ご報告します。

また、内容不備な点、不都合等ありましたらご指摘と修正をお願い致します。

SQC部会長 稲葉太一

問題I-1 (p.4, 表3) について

この表は、対立仮説を3種類、 σ_0^2 を2種類、検討している。

- 1) σ_0^2 を2種類調べているのは(問題設定では $\sigma_0^2 = 0.54^2$ に限られるが)、実際の状況では両方考えうるので意味があると思う。
- 2) H_1 を3種類調べているのは、意味はあると思うが、この問題設定では1つだけが正しいことを強調する必要があると思う。

問題I-2, I-3 の記号について

(コメント) 問題では μ_A, X_{Ai} を用いているが、テキストでは μ_1, X_{1i} となっている。

問題II-2

3元配置の問題として、適当だと思う。

(コメント) lsd を一回限りの利用として用いているが、多重性の考慮がなされていない
 lsd は、用いる利点が無いと思う。

問題II-4

メ - カーの人間として、2つのライン A, B で原料粘度には差がない方が自然だと思う。

(質問) 「無相関の検定の意義は」

(補足) 標本の大きさ n が大きくなると、小さい r でも有意になる検定に価値を見出せない。

以上です。